令和２年度学校だより　学校教育目標「せいいっぱい　きたえ　のびよう　東っ子」

東白川小だより

令和３年３月２５日（木）NO.13

多くの方に感謝の１年

校長　伊佐治　晃

本日、３月 25 日（木）に「第 41 回卒業証書授与式」を挙行いたしました。コロナ対応として式への参加人数、内容を若干縮小しての式ではありましたが、６年生６人の小学校生活の節目となる立派な式になりました。在校生もそれぞれの形で感謝、そして新しいスタートを応援する気持ちを伝えることができました。

式に参加できなかった１～３年生は似顔絵やメッセージをかいて贈りました。式に参加した４、５年生は歌「大空が迎える朝」と贈る言葉に精一杯の気持ちを込めました。

６年生はこれまでもそうであったように、最後まで「姿」で示すことを大切にしました。式の中での立ち振る舞い、声、呼び掛けすべてを在校生に残してくれました。４月からの中学校生活に向け、真っ白なスタートラインを引くことができたことでしょう。これからの更なる活躍を期待しています。

「東白川村に誇りと愛着を」

東白川の森林組合、製材協同組合、林業グループの協力を得て、今年度も東濃桧の卒業証書を渡すことができました。ありがとうございました。

始業式、入学式の翌日から約２ヶ月の臨時休業でスタートした令和２年度。コロナに振り回された１年だったと言ってしまえばそれまでですが、そんな中たくさんの感謝を感じた１年でもありました。

まず子供たちに感謝したいです。１年中、マスクを付け、１日に何度も手洗い、消毒をしてきました。また「思いやりの距離」と言いながら接触の多い遊びや活動等は控えてきました。大きな声で歌うこともできませんでした。そんな学校生活でしたが、コロナに負けないようにと真剣に取り組んでくれました。おかげでみんな元気です。本当にありがとう。

保護者の皆さんにも感謝です。子供たちの健康を第１に考えてくださり、年度当初は送迎にもご協力いただき、各種行事の参加についてもご理解いただいてきました。おかげで子どもたちは毎日元気に学校へ来ることができました。ありがとうございました。

地域の皆さんにも感謝です。サツマイモやジャガイモ、米づくりは４、５月の臨時休業中から助けていただきました。森林やお茶の勉強のために何人もの方に、講師に来ていただきました。また、学校が少しでも明るくなるようにと花を生けたり、鉢植えを持ってきてくださったりしました。マスクが不足しないようにと手作りマスクをいただいたこともありました。書き切ることができないくらいたくさんの支えのおかげで、１年間安心して教育活動を進めることができました。本当にありがとうございました。

来年度も笑顔、元気を少しでも多く家庭へ、地域へ発信できる学校であるように頑張ります。応援よろしくお願いいたします。